

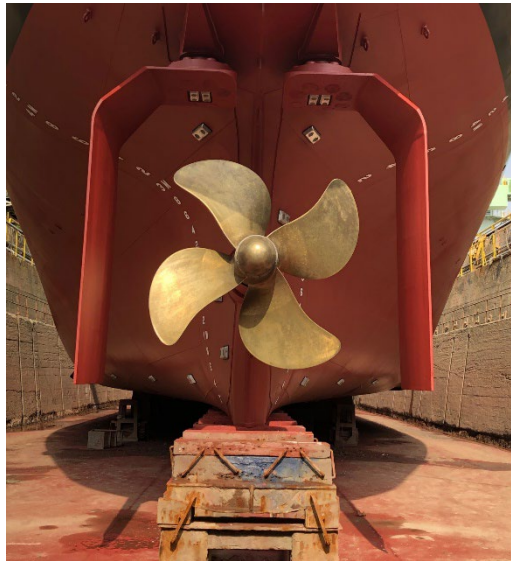
2025 年 12 月 1 日

報道関係各位

栗林商船株式会社

新型舵「ゲートラダー」に関する合併会社設立について

～日本発の脱炭素技術を世界へ～

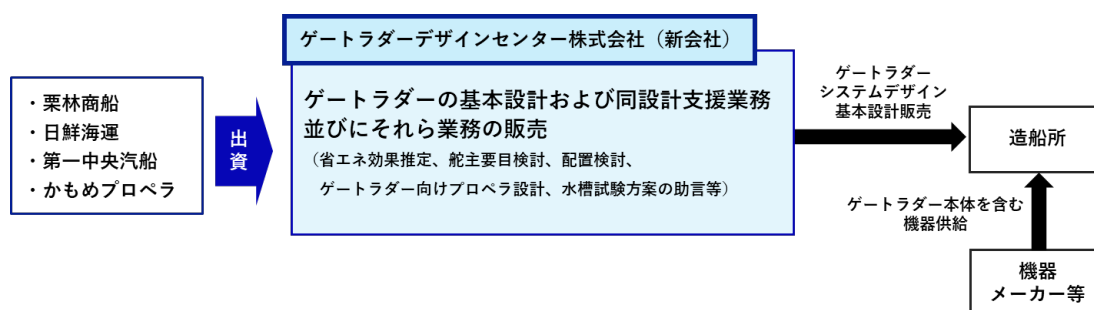


弊社は、日鮮海運株式会社（同：愛媛県今治市、代表取締役社長：阿部克也）、第一中央汽船株式会社（同：東京都港区、代表取締役社長執行役員：黒澤正治）、かもめプロペラ株式会社（同：神奈川県横浜市、代表取締役社長：板澤一樹）を共同出資者とした計 4 社により、新型舵「ゲートラダー」の基本設計業務をサポートする合併会社（以下「新会社」）を 2025 年 4 月に設立し、このたび国内大手造船会社との間で設計基本契約を締結いたしました。

ゲートラダーは、弊社前会長の故・栗林定友氏が、ストラスクライド大学・佐々木紀幸名誉教授とともに発明し、栗林商船グループやかもめプロペラ等が特許を共同で保有している省エネ技術です。舵をプロペラの両側に装備することで抵抗を削減し、また非対称翼断面形状の舵板が生み出す推力によって燃費・推進性能を高めることが可能です。GHG（温室効果ガス）削減による環境改善への寄与が期待できることから、これまでコンテナ船、タンカー、貨物船、ばら積み船、自動車船、冷凍運搬船、セメント運搬船、練習船、漁船などの幅広い船種で国内外累計 20 隻以上の受注を重ねております。以前は中小型の内航船への装備が中心でしたが、とりわけ直近 1 年は国内外からの大型船へ

の導入に関する引合いが急増しております。

ゲートラダーの全世界的な普及加速には、船主や造船所との綿密な事前協議を通じた船尾形状を含む基本設計の着実な履行がカギを握ると考え、そのサポート業務を集中的に担うことを目的として新会社を設立しました。社会の持続可能な未来を拓くというミッションのもと、次世代の環境対応技術を社会へ実装することを重要な役割と位置付けています。日本発の革新的海事技術を世界へ広く届け、グローバルな脱炭素実現への挑戦に依っていくための大きな一歩と位置付けております。



新会社の特徴

新会社は国内外の船主・造船所等の要望に応じて船種・船型別の最適な船尾形状やプロペラ径の提案などの基本設計業務を造船所から請け負います。ゲートラダーを含めた基本設計をパッケージ化した成果物を造船所に納品します。造船所は受領した成果物をもとに船型や配置を検討し、メーカーよりゲートラダー等の一式を調達する流れとなります。

新会社への出資者として、保有船隻数最大級の船主である日鮮海運、外航オペレーターの日鮮汽船、ゲートラダーの共同特許権者であり国内唯一の同ラダーメーカーであるかもめプロペラの3社と、弊社が参画。各社の強みを結集し、基本設計業務を通じてゲートラダーの全世界的な普及加速を図ります。

新会社の代表者は筆頭株主である弊社代表取締役社長 栗林宏吉が務め、弊社と日鮮海運からそれぞれ取締役を選任。株主各社の役職員が新会社の業務を兼務しております。

今後のビジョン(目指す将来像)

現在、約 60 隻へのゲートラダー実装に向けて基本設計業務に着手しており、国内外の船主・造船所との協議を日々行っています。脱炭素技術への期待値・需要の急速な高まりとともに、基本設計作業履行体制のほか、ゲートラダー本体の製造体制の強化も図っております。世界の船舶へのゲートラダーの普及を実現するために活動してまいります。

【新会社の概要】

法人名：ゲートラダーデザインセンター株式会社

設立日：2025 年 4 月 7 日

株主：栗林商船株式会社、日鮮海運株式会社、第一中央汽船株式会社、かもめプロペラ株式会社

本店所在地：東京都千代田区

代表者：代表取締役 栗林宏吉

業務内容：ゲートラダーの基本設計および同設計支援業務並びにそれら業務の販売
(省エネ効果推定、舵主要目検討、配置検討、ゲートラダー向けプロペラ設計、水槽試験方案の助言等)

=====

本件に関するお問い合わせ先：

栗林商船株式会社

(ゲートラダー搭載ご検討に関するお問い合わせ)

ゲートラダーデザイン開発センター・田中 (r.tanaka@kuribayashi.co.jp)

(当社に関するお問い合わせ)

総務部・笹川 (n.sasagawa@kuribayashi.co.jp)